

エボン渓谷にかかるクリフトン吊り橋は、ブリストルの町のシンボルです。150年近くにわたり、世界中からの観光客を魅了し続け、地元の人たちにとっても、散歩しながら景色を楽しむ人気スポットです。橋はクリフトン・サスペンション・ブリッジ・トラストによって管理・保全されています。この慈善団体の収入源は、橋の通行料だけで、国からも地方自治体からもナショナルロタリー（宝くじ）からも一切資金を受け取っていません。ブリッジマスターと呼ばれる、きちんと資格をもった土木技師が橋の日々のオペレーションにあたっています。

この橋の物語は、1754年に一人のブリストルのワイン商人が残した遺書に端を発しています。彼は遺した一千ポンドを自分の死後、投資させ、その額が一万ポンドに増えた時に、そのお金をこの渓谷に渡す橋のコンペティションを行って橋を架ける為に使用されるようにと、遺書に記したのでした。1829年に行われた最初のコンペティションは、当時一流の土木工学のだったトーマス・テルフォードによって審査されました。テルフォードは22の応募作品すべてを却下し、自分のデザインを提出しましたが、彼の受賞は不人気だった為、1830年に第二のコンペティションが行われました。激しい議論の末、24歳のイサムパード・キングダム・ブルーネルが優勝し、プロジェクトエンジニアとして指名されました。これが彼にとって初めての大事業でした。

しかしながら、プロジェクトは政治的・経済的困難に付きまとい、1843年には主塔だけが完成した状態でプロジェクトは放棄されました。ブルーネルは1859年に53歳という若さでこの世を去りましたが、彼の功績に感化された仲間の設計士らが、彼への追悼として橋を完成させ、1864年ついに開通の日を迎えました。十九世紀初頭に、軽量の馬車の交通の為に設計されたにもかかわらず、現代の自動車が主の交通にも耐えうるこの吊り橋は、一日に11,000台もの自動車が行き来しています。

寸法： 全長：アンカレイジからアンカレイジまで 1352フィート (414m)
スパン (支間)：中央から橋脚の中央まで 702フィート (214m)
全体の幅 31フィート (9.5m)
高さ (高波から上のデッキレベル) 245フィート (76m)
柱頭を含む橋脚の高さ 86フィート (26.2m)

材料： チェーン/サスペンションロッド — 錬鉄

橋脚 (主塔) — 地元の石材

レイ・ウッド (南) 塔は、赤砂岩の橋台に建つ

橋のデッキ — 14cmの板材のまくら木の上に5cmの板張りを重ねている。1899年以来、デッキにはアスファルトが敷かれている。

1864年の開通式の一部として、橋にはイルミネーションが施されました。以来、特別な行事の際には、イルミネーションがなされてきました。1967年からは、常設で明かりが灯されていますが、どんな電飾システムが取り付けられても、電球を盗む泥棒、破壊行為、腐食、さらには鳥によってつつかれるなどの問題に悩まされてきました。3000個の低力LEDを使った現在のシステムは、ブルーネルの生誕二百周年を記念して設置され2006年4月に点灯されました。

クリフトン吊り橋ようこそ！ 皆様のこの橋へのご訪問が楽しいものとなりますように願っております。

